

【地域住民の社会参加活動に関する実態調査票（その1）】

<p><記入日></p> <p>平成 30 年 月 日</p>	<p><記入者></p> <p>市町村： _____</p> <p>担当地区： _____</p> <p>氏名： _____</p>
---------------------------------------	--

担当地区の状況等についてご記入ください。

質問1 担当地区に、ひきこもり状態で概ね 15 歳以上の方はいますか？当てはまる方いずれかに
○印をつけてください。

（※別紙【「地域住民の社会参加活動に関する実態調査」の実施について】を参考に回答願います。）

- (1) いる ⇒ 別紙【地域住民の社会参加活動に関する実態調査票（その2）】に個人毎の概要を記載願います。（一人につき1枚）
- (2) いない

質問2 今までに担当地区にお住まいの方から質問1の状態（ひきこもり状態）の方に関する相談
を受けたことがありますか？

当てはまる方いずれかに○印をつけてください。

（※現在担当地区にひきこもり状態の方がいらっしゃらない方もお答えください。）

- (1) ある ⇒ 質問3へ
- (2) ない ⇒ 質問4へ

質問3 ひきこもりに関する相談を受けたことがある方にお聞きします。

相談内容はどのようなものでしたか？当てはまるもの全てに○印をつけてください。

- (1) 日常生活に関すること（生活リズムが整わない、ご飯を食べない、入浴しない等）
- (2) 医療、病気に関すること（精神疾患ではないか？等）
- (3) 経済的なこと（働くことができず生活が苦しい等）
- (4) 学校、仕事のこと（不登校、就職の失敗、就職したが辞めて戻ってきている、等）
- (5) 将来のこと（仕事をしておらず今後の生活が心配、等）
- (6) 情報の問合せ（どこに相談したらよいか教えて欲しい、等）
- (7) その他 { 具体的に記載願います }

質問4 ひきこもり状態の方に対する支援策として必要と感じるもの全てに○印をつけてください。

- (1) 精神科医師等による専門的な医療支援・カウンセリング等の充実
- (2) 行政機関等における総合的な相談窓口の充実
- (3) 支援団体（NPO 団体等）の充実
- (4) ひきこもりに関する支援窓口、相談窓口の周知・PR
- (5) 家庭訪問
- (6) 居場所の支援
- (7) 進学や就労に関する支援
- (8) ひきこもり状態の方を抱える家庭や家族への支援（家族教室等）
- (9) 生活するうえで必要な金銭的支援（住居確保給付金、一時生活支援等）
- (10) その他

具体的に記載願います

質問5 その他ひきこもり者の把握や支援に関して、普段感じていることがありましたらご記入をお願いします。

回答期限：

平成30年8月31日（金）

～ ご協力いただきましてありがとうございました ～